笑顔　団結　思いやり～人間力を大切にした学年へ～

SHINRYOKU ～新緑 新力～

明石市立朝霧中学校

第１学年　学年通信

平成２９年１２月１８日

第４５号

性教育講演会を終えて

保護者のみなさまにも



保護者のみなさまにご協力を頂きながら、１年生では３時間の計画で、性教育を実施いたしました。その締めくくりとして、１２月８日にマナ助産院というところから助産師の田口紗緒里先生にお越し頂き、講演をして頂きました。いわゆる「性教育」だけではなく、人の命のつながりや、自分が生きていくということ、愛するということ、思春期という時代についてなど、その内容は深く多岐にわたっていたように感じています。聞いていた教師も感動させて頂いた講演でした。



子ども達も様々なことを学び、感動していたようです。それぞれが、自分の言葉で書いた感想です。一人一人が大切な存在であること、両親や家族のみなさまがたくさんの愛情を注ぎながら育ててもらったこと、自分の将来についても思いをはせたようです。

現在、三者面談の中で、子どもたちのお手紙をお返ししていることと思います。ご自身のお子様のお手紙と合わせて、４８期生の感想も読んでいただければ幸いです。

命の大切さについて考えることができました。今まで自分が生まれた時のこととかに全然興味がなかったので、考えるきっかけになりました。田口先生のお話を聴いて、母が自分を産むとき、どれだけつらかったんだろうと思いました。改めて私は望まれて生まれてきた大切な命なのかな、と思いました。性についてのお話は、最初は嫌だなとか、聴きたくないな、と思っていたけど、今の自分を知るきっかけになりました。

あと、周りは自分の好きな人のこととか、友だちの好きな人の話とかをしていて、自分はそういう人がいなくて話についていけなかったけど、全然悪いことではないんだなと思って安心しました。また、自分が大人になって子ども産むかも知れないと考えることができました。

今回、田口先生の話を聴いて、今僕が生きているということが、すごいことなんだなと思いました。自分では何気なく生きているけど、家族にとってうれしいことなんだと思うと、これからも親からもらったこの命を大切にして生きていこうと思いました。

あと、この話を聴いて、自分に自信をもって生きようとも思いました。僕はネガティブ思考で、知らない人としゃべったりするのが苦手です。でも、これから自分という人間を客観的に見てみて、ちょっとでも自分に自信をもってネガティブ思考や人見知りをなくしていけたらいいなと思いました。今回、改めて命について考えてみて、とても大切なことだということを感じました。これから一生懸命に生きていこうと思いました。

助産師の仕事や役割をよく知らなかったので、今日はいい経験だったと思います。今回の話で、人間関係の大切さやどうあるべきか知ることができました。子どもを産むためには、母親の頑張りはもちろんのこと、子ども自身の頑張りや、応援する他の人の頑張りもあることがわかりました。妊婦の人はとても大変だということもわかったので、これからは僕も、バスや電車で妊婦さんにも他の体の不自由な人にも積極的に席をかわろうと思いました。今日はありがとうございました。



今日は、命の大切さをよく知りました。前の映像でも見ましたが、やはり、生まれてくるにはたくさんの人が関係していると思いました。一人でもいなかったら僕は生まれていないとなると、とても歴史を感じます。

また、僕には女性の気持ちがわからないので、出産の痛みはわからないけど、とても痛いんだなぁと映像や話を聴いてわかりました。だから、この痛みを耐えてくれた母や、父の支えがあって生まれたこの命を大切にしていきたいです。

最近、僕も親に対してすごいイライラしていて「偉そうに言いやがって」とか思っていたけど、赤ちゃんのときから今までたくさんの愛情をもらっていることを知りました。

もし、両親が僕のことをずっと何もしないで放置していたら、小学校にも中学校にも行けずに、ずっと病院で入院していたり、最悪、命がなくなっていたかもしれません。しかし、愛情があったおかげで友達もできて、楽しい生活を送れています。それは両親のおかげなので感謝したいです。もし、この講演がなかったら、「今までもらってきた愛情」を知らないままずっとケンカ状態になっていたかもしれません。

講演会をありがとうございました。

改めて「命」ということが大切だと思いました。

私も生きるのがつらいと感じている時がありました。自分で「私が友だちって思っているだけで、友だちはそうは思っていない。」とか「私はこの世界に必要ではないのかもしれない。」とか思っている時がありました。しかし、今日の勉強で、田口先生も私よりしんどいのに、友だちに助けられたというのを聞いてすごいなと思いました、今日の授業で、私も友だちに相談していたら今みたいにならなかったのかなと思います。私も、田口先生の友だちのように、苦しみをわかちあえる本当の友だちを見つけたいなと思いました。また、人から受けついだ命は簡単には捨ててはいけないと思いました。これから、命を大切にして生きていきたいです。ありがとうございました。

私は、田口先生のお話を聴いてすごく勉強になりました。すこし、びっくりしてしまったところもありましたが、誕生の瞬間はとてもうれしかったです。本当に、他人のご家族のことなのに、生まれるところに感動しました。

私は、ある病気をもっています。もう、小さいころから知っていました。ときどき、こう思うこともあります。「病気があるなんて。病院に行って治療されるのが、苦しいし、こんなんだったら生まれなければよかった」と。でも、今日しっかりと思いました。「生まれてよかった。」

私もいつか、子どもを生まれる瞬間が待ち遠しくなる日がきっとくると思います。

４８期生の一人一人に歴史があり、家族の方々の愛があり、みんなが繋がっていて、毎日学校にきてくれているんだなと感じられた講演・作文でした。これからも保護者のみなさまと一緒に、子どもたちの健やかな育ちや未来のために頑張りたい、と思った時間でした。